

平成 18 年 5 月 15 日

各 位

会社名 三菱瓦斯化学株式会社
代表者名 小高 英紀
(コード番号 4182 東・大・名証第一部)
問合せ先 広報 IR 部長 佐藤 康弘
TEL (03) 3283-5041

中期経営計画のお知らせ

当社は、「全ての事業活動においてCSRの実践を徹底し、真の高収益・研究開発型企業集団として、持続的成長を目指すこと」をグループビジョンとして、本年度を初年度とする新たな中期経営計画「**協創2008**」をスタートさせました。

当社では、前中期経営計画「**協創 2005**」において差異化戦略の徹底による個々の強みの強化と、その強みを融合させることによる「新たな価値の創造」として「協創」をテーマに掲げるとともに、事業構造改革の加速により収益体質への転換を図ってまいりました。その結果、事業構造改革の成果と経済環境の好転が相俟って目標を大きく上回る収益を達成することができました。

今回の中期経営計画「**協創2008**」では、こうした成果を踏まえ軸足を成長へシフトし、差異化戦略の徹底による更なる成長と経営基盤の強化を骨子として、一層の飛躍を目指します。

具体的には、メタノールやポリカーボネートなどグローバル市場で競争優位にある事業については、海外生産拠点の新設・拡充を通じて、成長するアジア市場におけるプレゼンスを強化する一方、グループ全体のR&D資源をフル活用することで、エレクトロニクス、環境関連やライフサイエンスなど急速な成長が期待できる分野では、付加価値の高い製品群を精力的にマーケットに投入いたします。

同時に財務体質の一層の改善、生産性の向上、人材育成と技能伝承、関連会社とのシナジー効果の拡大等を通じて成長を支える経営基盤を強化いたします。

当社は、これらのテーマへの取り組みを通じ、今後もグループ一丸となって高収益企業集団の実現に向け努力してまいります。

※ 「**協創2008**」の概要は別紙のとおりです。

【別紙】

『協創2008』

～セカンド・ステージ～

“更なる成長に向けて”

I. グループビジョン

MGCグループは、全ての事業活動においてCSRの実践を徹底し、
真の高収益・研究開発型企業集団として、持続的成長を目指します。

II. 基本方針

1. 差別化戦略の徹底による更なる成長

- 1) 成長するアジア市場におけるプレゼンスの強化
- 2) 重点分野に対する経営資源の集中投入
- 3) 新規製品群の早期育成

2. 経営基盤の強化

- 1) 絶えざる事業構造改革
- 2) 成長を支える強靱な財務体質の構築
- 3) 生産性の向上と継続的コストダウン
- 4) 人材の育成と現場力の強化
- 5) 経営資源共有によるグループシナジー効果の更なる向上

III. 数値目標（2009年3月期達成目標）

- | | |
|-------------------------|--------|
| 1) 連結経常利益 | 550億円 |
| 2) 連結ROA（総資産経常利益率） | 9.0%以上 |
| 3) 連結D/Eレシオ（有利子負債純資産倍率） | 0.6以下 |

以上